

知識とくつろぎ

文化の館 (1)

積み木を並べたような外観とクリスタルな壁面。清楚な色どりを玄関の水辺に映す文化の館は、40億円を投じて平成九年に完成しました。

2階建て延べ6千7百㎡の建物には、日に千人近い人が訪れます。

図書館だけでなく祝聴覚ライブラリーと映像情報館を備えた、まさに知識とくつろぎの複合館です。

2万3千㎡の敷地の北側は石畳が敷かれ、野外演奏会やフリーマーケットなど幅広く活用されています。



多くの人に親しまれている文化の館

2階の交流サロンで絵画の展覧会が、多目的ホールでは第3土曜ごとに有名な映画が上映されています。ソファでゆったりとCDやFM

放送を聴いて市民が憩い、児童閲覧室には4万3千冊の絵本などが備えられ、おかあさんと一緒にビデオを楽しむ幼児の姿もほほ笑ましい。

ホールでは200インチのハイビジョンスクリーンと、抜群の音響・舞台装置を備えて164人を収容でき、素晴らしいコンサートが満喫できます。疲れたら1階喫茶コーナーをどうぞ。34席があり、ワイン色のエプロンを着たボランティアさんがおもてなし「せんざいがうまい」と好評です。

蔵書は24万7千冊、貸し出し登録は3万8千人で、一日平均の貸し出し数は千8百冊に達しています。

蔵書の主力は文学、芸術・体育で、文学が7万8千冊、芸術・体育と社会科学がそれぞれ2万9千冊、次が歴史・地理の順です。

国会図書館や県そのほかの町の図書館の蔵書もコンピュータで検索できます。鯖江市は近松の文学、武生市は源氏物語、今立町は和紙関係の図書と広域で役割分担を果たし、お互いに貸し出し交流をしています。